

一般会計の歳入歳出の総額は、歳入64億2,709万円、歳出62億4,194万円となり、形式収支は1億8,515万円、翌年度に繰り越すべき財源3,743万円を差し引いた実質収支も1億4,772万円の黒字決算となりました。

令和2年度に比べ、歳入は3億7,595万円減、歳出は3億5,283万円減と歳入歳出ともに減少しました。前年度に庁舎建設事業の本体工事が竣工したことにより普通建設事業が減となり、それに伴いその財源の町債も減少しています。一方で、ごみ処理施設整備事業等の元金償還が開始したことにより公債費は増加しています。

財政健全化指標

指 標	令和2年度	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	13.0%	12.7%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	103.7%	74.3%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

町債（公債費）残高

会 計 名	令和2年度	令和3年度
一般会計	120億7,431万円	115億2,601万円
浦郷診療所	1,169万円	1,172万円
簡易水道事業	8億95万円	8億123万円
下水道事業	11億5,585万円	11億6,262万円
合 計	140億4,280万円	135億158万円

基金残高

基 金 名	令和2年度	令和3年度
財政調整基金	9億6,997万円	9億8,853万円
減債基金	4億9,748万円	9億4,891万円
庁舎建設基金	1億8,896万円	0万円
国保関連基金	3,387万円	3,399万円
その他基金	1億5,716万円	1億6,479万円
合 計	18億4,744万円	21億3,622万円



今後の見通し

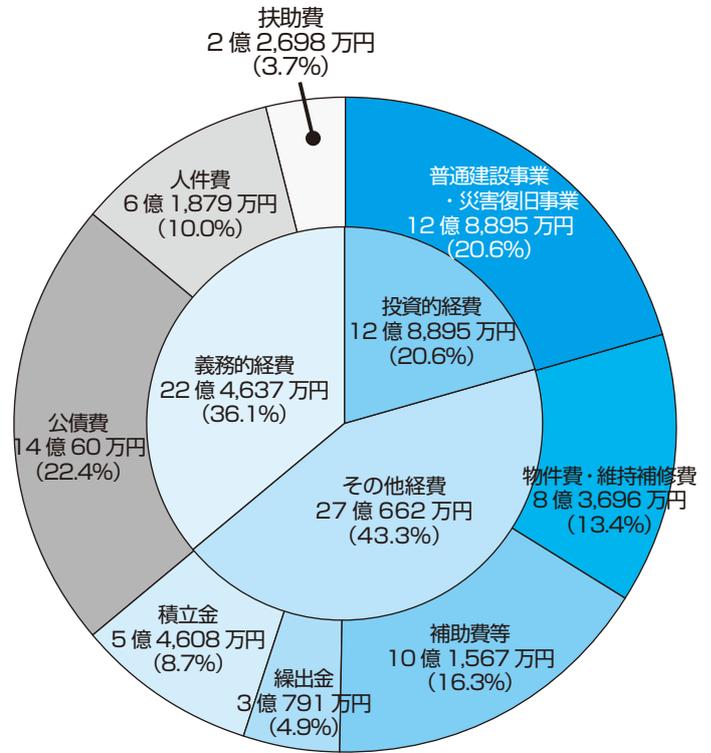
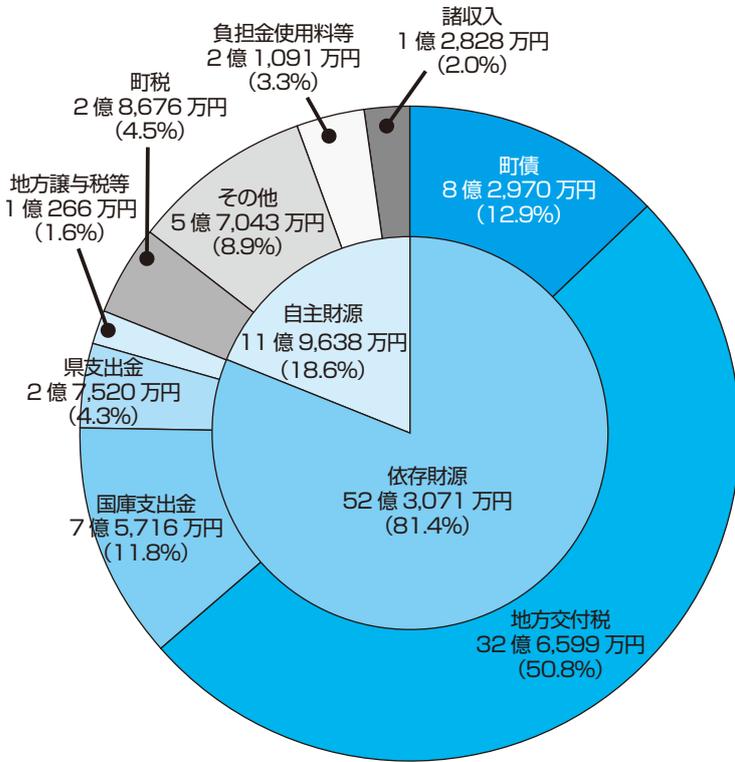
西ノ島町の財政は、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が比較的堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

令和3年度に庁舎建設事業が完了したことで、予定されていた大規模な普通建設事業は完了しました。今後は学校建設事業、ごみ処理施設整備事業等の元金償還により公債費の高止まりが続くため、それに合わせ基金の取り崩しを行う予定としています。財政状況は決して楽観視できませんが、引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。

決算報告

一般会計

歳入・歳出ともに減少しました



一般会計歳入 64 億 2,709 万円

一般会計歳出 62 億 4,194 万円

用語解説

- 自主財源** 町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- 依存財源** 国や県から交付されるお金や借入金。
- 地方交付税** 地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- 町債** 町の借金。
- 公債費** 町債の元利償還金等。
- 義務的経費** 支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- 投資的経費** 道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- 扶助費** 法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- 繰入金** 他の会計に支出するお金。

用語解説



特別会計

会計名	歳入	歳出		差引
		うち一般会計からの繰入金		
国民健康保険事業	4 億 4,615 万円	3,529 万円	4 億 4,548 万円	67 万円
後期高齢者医療保険事業	1 億 296 万円	5,448 万円	1 億 281 万円	15 万円
浦郷診療所	5,030 万円	695 万円	5,010 万円	20 万円
へき地三度出張診療所	1,238 万円	448 万円	1,218 万円	20 万円
簡易水道事業	2 億 765 万円	3,169 万円	2 億 745 万円	20 万円
下水道事業	2 億 7,626 万円	1 億 824 万円	2 億 7,576 万円	50 万円
合計	10 億 9,570 万円	2 億 4,113 万円	10 億 9,378 万円	192 万円